

自治会加入促進の取り組み状況



河内は自然が豊です



スポーツの町・河内

河内のシンボルフラワー「さぎ草」



令和7年12月22日
河内地区連合自治会



河内地区の現状

河内地区は、農村と住宅地域が混在する都市近郊型農村地域として発展してきました。市の北東部に位置し東西8.5km、南北10km、面積47.72km²、東側には一級河川の鬼怒川が流れ、西部の丘陵地のほかはほぼ平坦地である。

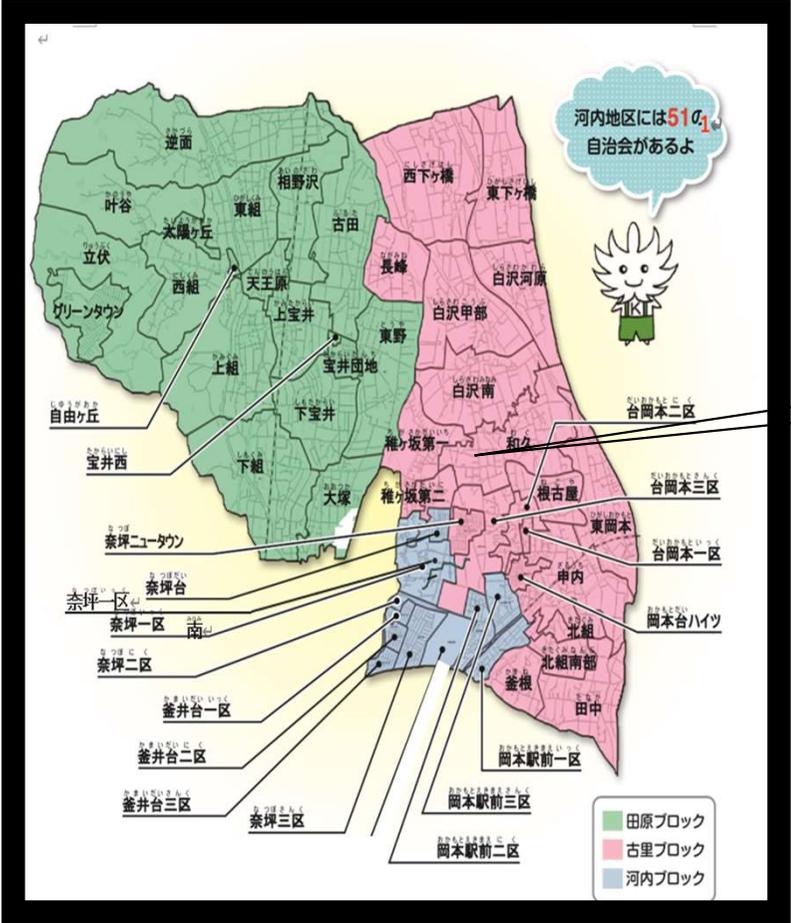
鉄道のJR岡本駅は、地区の玄関口として多くの通勤・通学者が利用しており、宇都宮駅にも近く利便性に恵まれています。また、道路交通網は、宇都宮市の中心部から放射線状に伸びる国道4号線、県道氏家宇都宮線（白沢街道）及び主要地方道藤原宇都宮線（田原街道）などの国道・県道が地区の骨格をなしており、市街地もそれらに沿って形成されている。

平成19年3月31日宇都宮市と合併し、宇都宮市の一地区となり今日に至っている。

令和7年10月1日現在、加入世帯数9,202・加入率62%、自治会は1,232世帯から12世帯まで大小様々である。

近年、急速に進行する少子高齢化や人口減少、核家族化、価値観の多様化など、加えて若年層の地域への関心の希薄化により自治会への未加入者や退会者が増加傾向にあり、自治会加入率が低下している。また、毎年、半数程の自治会長が任期1～2年で退任していることから、自治会運営の継続が懸念されている。

河内地区連合自治会



河内地区連合自治会は、宇都宮連合自治会内で単位自治会が一番多く、51自治会で構成している



タブレットを使用しての会議開催

河内地区市民センター



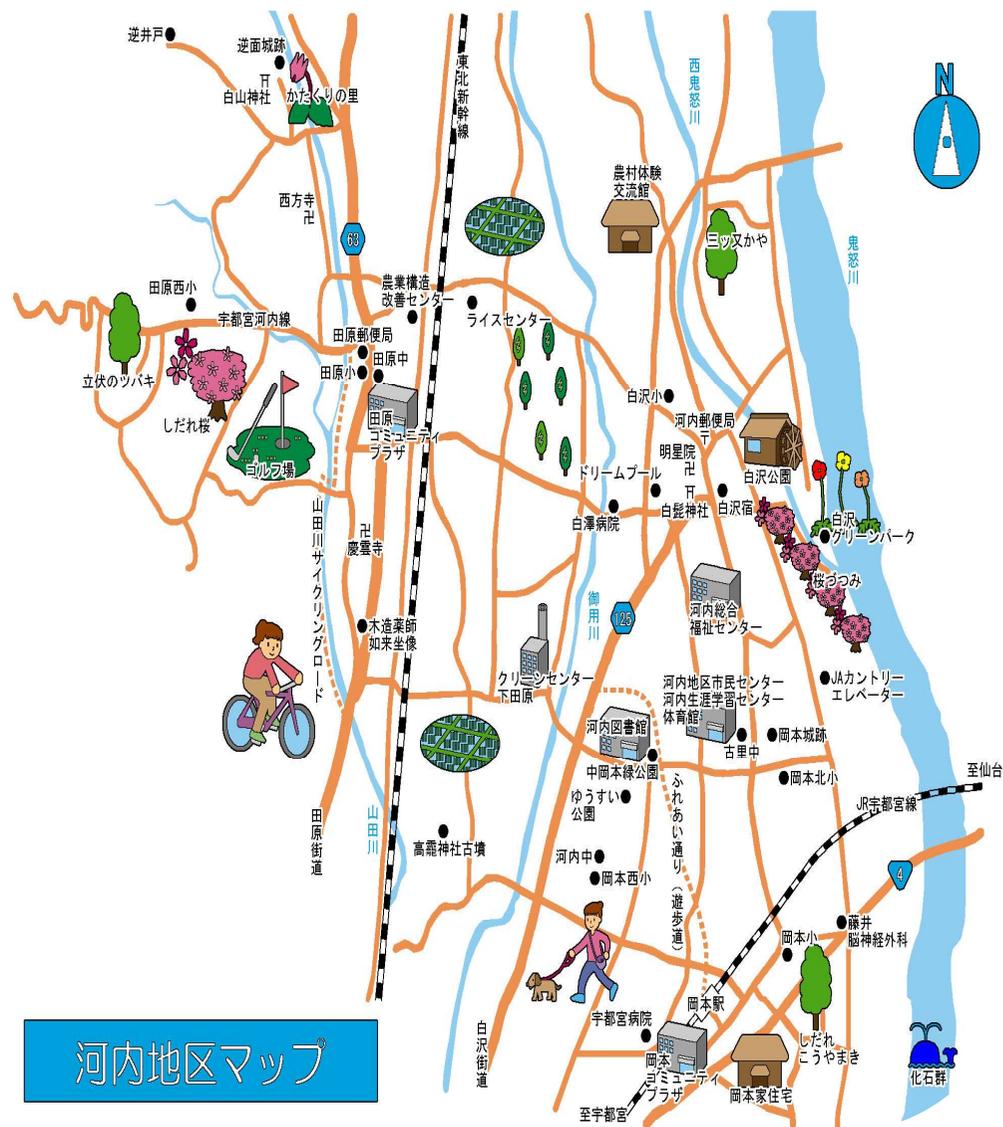
自治会加入促進活動状況



自治会長がイベントでポップコーンを無料配布

自治会加入促進委員会活動の経緯

自治会加入促進については、令和元年6月に、河内まちづくり協議会が平成28年3月に策定した、河内地区地域ビジョンに基づき、自治会加入促進委員会要項（令和元年6月12日施行）を定め、自治会加入促進委員会を設置し、これまで継続的に推進して参りました。



令和2年度

令和2年度岡本駅前二区自治会が宇都宮市の「自治会加入促進に向けたアドバイザー派遣事業」のモデル自治会に指定され賃貸住宅入居者対象とした自治会加入促進活動を行なった。

○支援事業者

NPOとちぎユースサポーターズネットワーク

○岡本駅前二区自治会内の賃貸住宅の現状（令和2年当時）

- ・ 自治会内、賃貸住宅「35棟」
- ・ 部屋数約226部屋
- ・ 入居世帯201世帯うち自治会入会世帯3世帯
- ・ 高齢者世帯7世帯（自治会未加入）

○未加入者に対しアンケート調査を実施

- ・ 役員等が賃貸住宅入居者へ自治会だより等をポスティング3回実施
- ・ 新規入居者への自治会加入の誘いの実施
- ・ 不動産会社への協力要請実施

その結果、令和2年10月までに14世帯(うちアパート入居者1世帯)の新規入会に繋がった。



令和3年度

岡本駅前二区自治会では、少子高齢化が進行する中、区画整理事業に伴い賃貸住宅や分譲住宅建設され住民が増加し、賃貸住宅や分譲住宅の入居者の自治会加入が低く、自治会加入率を引き下げている現況にあった。

令和2年度、宇都宮市の「自治会加入促進に向けたアドバイザー派遣事業」のモデル自治会に指定され賃貸住宅入居者対象とした自治会加入促進活動を実施したことから、令和3年度も同事業の継続実施し、自治会内の賃貸住宅入居者37棟約200世帯を対象として自治会紹介するチラシ及び自治会加入促進チラシを2回、連自治会役員及び自治会役員とともに各戸にポスティングした。



令和4年度

新型コロナウイルス感染症の影響で、地域の行事や会議等が軒並み中止され、近隣住民や自治会におけるコミュニケーションが希薄化している状況の解消を図ることとし、連合自治会の事業を起爆剤として、「元気を取り戻そう!! 河内」と称し地域活力(元気)の向上を図る事業を行うことにした。その事業として自治会加入のメリット「宮PASS」の周知も図ることにした。

その事業として、河内地区市民センター多目的広場で「模擬店」の開設、同センターからたいらや岡本店間のジェイバス・三和テッキなどの工場見学を含むウォークラリーを実施。また、ウォークラリーの最終地点のたいらや岡本店においても模擬店でおもてなし、自治会加入相談窓口を開設した。



第2会場開催本部



ウォークラリー
参加者の終着確認



自治会加入相談所

ジェイバス見学状況



三和テッキ見学状況



令和5年度

少子高齢化や人口減少の社会的要因が加速する中で、3年に及ぶコロナ禍で自治会活動の停滞が余儀なくなくされ、一層の自治会への関心が希薄化されてきた。さらに役員の担い手不足や高齢者の退会にあることから、若者から高齢者までの全世代によるワークショップを実践し、住民と共有する自治会の在り方を構築する。

宇大学生、若手企業経営者や子育て中の母親等との意見交換会を開催し、最終的に「若い方からの『魅力ある自治会づくり』提言集をまとめた。

若手起業者等と車座トーク



宇大生との意見交換会



子育て中の母親との意見交換会



若い方からの「魅力ある自治会づくり」提言

若い方からの「魅力ある自治会づくり」
提言集



楽しい
自治会
がわち
KAWACHI

河内地区連合自治会

提言集から自治会長の
リーダーシップの
重要性を認識し
自治会長必携を作成

令和6年度

自治会長必携

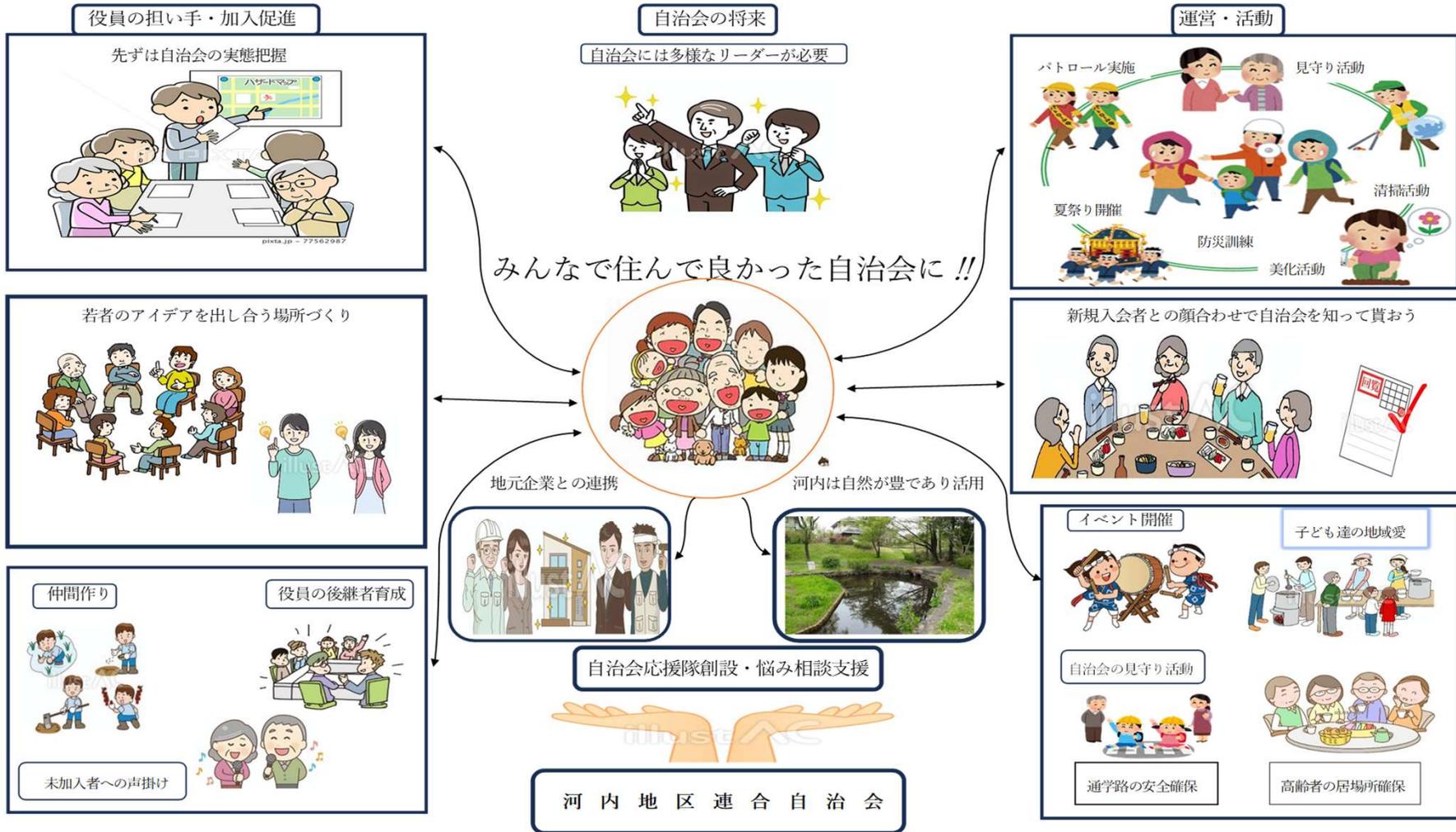


河内地区連合自治会

楽しい
自治会
がわち
KAWACHI

魅力ある自治会の姿

河内地区連合自治会



令和6年度

連合会の傘下には51単位自治会があり、毎年自治会を約100世帯くらいの退会者が出ている。今年度の自治会加入率は62.3%で前年より2%低下した。従って、現状では自治会退会抑止対策が喫緊の課題であり、自治会の役割である向こう3軒両隣の精神「共助」が重要である。特に今年度は近隣同志の者が助け合う自治会の再構築と自治会退会者抑止とこれまで退会した者の再入会を促す事業に取り組んだ。事業の一つとして、自治会退会者等へのアンケートを実施し、自治会に求める事項などの把握に努めた。

アンケート回答状況

アンケート結果は、合計88件、（郵送66件・インターネット22件）回答回収率25.2%の回答を得た。

アンケートの回答には、意見要望も求めたところ、多数の意見要望もあり、その意見要望については別紙で示した。

アンケート回答者88件のうち、自治会退会者77人、自治会未加入者11人であった。

退会者のうち、退会されたときの年齢については、50～60代、70才以上の高齢者が全体の73%を占めていた。



かわち自治会応援隊の概要

令和6年6月24日創設

応援隊創設の背景・趣旨

- 自治会が抱える課題として、少子高齢化等による、役員の担い手不足や若年層の自治会への関心の希薄化、高齢に伴い自治会退会者の増加など自治会存続の危機
- 近年のコロナ感染症により、自治会の事業中止や縮小により事業企画の伝承がされず、自治会事業が先細りぎみ
- 自治会長が1～2年で退任することで自治会運営のサポートが必要な状況が見受けらる
- 昨年度実施した河内地区内の若手起業者や子育て中の母親、宇大学生から「魅力ある自治会づくり」としての提言を受けた
- そこから、連合自治会として単位自治会の活性化のためには、自治会事業等を応援する応援隊の必要性を導き、「かわち応援隊」創設に至った。

応援隊の活動

- 1 自治会が行う各種事業（イベント、安全安心、環境、福祉等）の補助に当たり、隊員の知識や技能により側面から支援
- 2 自治会が実施する事業について、自治会から事前に相談の要請がある場合にも、隊員は知識や技能により支援
- 3 応援する事業で専門的知識・技能等が必要と認められる場合は、その都度アドバイザーを要請することができる。
- 4 その他、目的達成に必要なこと。



かわち自治会応援隊組織図

令和7年12月1日現在

代表	地区連合会長	
隊長	若手企業代表取締役	
副隊長	3名（企業関係者1名 ・連合自治会副会長2名）	
隊員	20名	
内訳	企業関係者	5名
	自治会長	4名
	青少年育成関係者	4名
	消防団関係者	2名
	大学生	5名
事務局		2名

活動状況

- 令和6年9月 KAWACHIコネクト支援
- 令和6年12月 子供の居場所施設開設事業支援
- 令和7年6月～ 自治会加入促進事業支援
(活動内容次ページ紹介)
- 令和7年7月 田原サマーフェスタ支援
- 令和7年10月 かわちスポーツフェスタ支援
- 令和7年11月 かわちふるさとまつり支援



自治会加入促進広報用品



うちわでの広報



配布用ポケットティッシュ



イベント会場で掲示

令和7年度

連合自治会として、これまで魅力ある自治会事業に取り組み、若者からの提言集や自治会長必携などの加入促進策を実践し一定の成果を上げた。しかしながら、年々若者の自治会未加入者の増加や高齢者の退会に歯止めがかけられず、自治会加入率が低下傾向になっている。

そこで、歴史的組織的な集団退会があった田原地区東組自治会(自治会加入率14.5%)の**自治会再構築**と、今年度は河内地区において124戸の分譲住宅建設が開始予定であることから、この住宅完成と居住開始前に**モデル自治会組織を構築**するよう準備事業に取り組んだ。

- ・ 宇大学生と東組自治会役員との意見交換会の開催
- ・ かわち自治会応援隊の支援を受けイベントの開催
- ・ 住宅入居者対象とした河内地区を紹介するチラシを作成し開発業者に提供

宇大教授・学生との意見交換会



分譲住宅開発現地状況



ご清聴ありがとうございました。

